

科目名	校外実習 Job Training			担当教員	4 年学級担任		
学年	4 年	学 期	集中	履修条件	選択	単位数	1
分野	専門	授業形式	実験・実習	科目番号	14236029	単位区別	履修
学習目標	校外での就業体験(インターンシップ)を通して、授業では得られない実践型教育を行う。実践型教育とは授業で得た知識や技術が、実際の会社の仕事ではどのように活用し使われているかを体験し、今後必要な知識や技術をどのように勉強していくか考える。また会社での就業体験により社会での技術者としてのマナー、責任感、倫理観等を体験することにより、卒業後社会人としての自覚や職業観を身につけること目標とする。						
進め方	就業体験(インターンシップ)を希望する会社の情報収集を行い、志望理由等を自分で考えエントリーシートを完成させる。校外実習ガイダンスにより、就業体験の心構え、マナー等をきちんと理解する。実際に会社、工場、研究所、大学の研究室等で就業体験を行い、校外実習終了後に報告書を提出し校外実習報告会で校外実習内容の発表を行う。						
学習内容	学習項目(時間数)			学習到達目標			
	<p>1 実習前に希望する会社に関する情報を収集し、志望理由書を提出する。</p> <p>2 実習に向けての心構え、報告書の書き方などの事前のガイダンスを受ける。必要書類を作成する。</p> <p>3 夏季休業中の時期において、各学生が校外で 30 時間以上の校外実習を行う。実習内容は、生産現場および事務所での業務、研究室での業務などであり、それを体験する。(30以上)</p> <p>4 校外実習終了後、報告書を提出する。</p> <p>5 校外実習報告会で実習内容を発表する。</p>			<p>情報機器を用いて情報収集ができ、知識を整理し、目的を文章にできる。</p> <p>校外実習の目的を理解する。</p> <p>授業の内容が実社会で活かされていることを認識する。将来必要となる知識や技術の方向性を把握する。職業観・技術者倫理等を養う。</p> <p>情報機器を活用して報告書や資料を作成できる。</p> <p>情報機器を活用して口頭発表ができる。</p>			
評価方法	各学科において、校外実習参加者の評価を、①校外実習報告書の評価 50 %、②校外実習報告会の評価 50 %で行い、教務委員会において審議し、最終評価する。						
履修要件							
関連科目							
教 材							
備 考	会社において技術者としてのマナーを守る。遅刻・欠席等(不測の事態の場合は必ず校外実習先に連絡すること)を行わない。実習先の担当者の指示に従い、事故に注意し、本校学生として常識のある行動をする。						